

【議題1】 少子高齢化時代の自治会の退会及び加入への施策について

て

現在、特に高齢者の退会が多く、自治会への新規加入へのメリットが問われている現状です。退会（特に高齢を理由とした）を防止し、新規加入者を増やすため、どのような施策に取り組まれていますか？

また、各市の特色や課題、今後の取り組みについて、ご意見等をお知らせください。

住民自治組織名 浦安市自治会連合会

調 査 票	
現状・取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回浦安市内に全戸配布している自治会連合会広報紙「うみかぜ」では、実施した事業の活動報告や各自治会の紹介を行っており、自治会の存在を身近に感じてもらえるよう工夫している。 ・自治会連合会の主要事業のひとつとして毎年「納涼盆踊り大会」を実施している。これは元々各自治会で別々に開催していた盆踊りを統合して盛大に行うようになったものであり、浦安の夏の風物詩として多くの自治会員および市民の心に、ふるさと浦安の意識高揚をもたらしている。 ・不動産会社向けに、不動産売買に伴う自治会新規加入促進の為であれば、事前に自治会長から了承を得たうえで、該当する地区の自治会長の連絡先を教えることを可能としている。
各市の特色・課題・今後の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙については非自治会員も対象として、現在のところ全戸配布としているが、今後は紙媒体だけでなく既に実施している連合会ホームページへのアップロードの他に、データ回覧の活用等、配布を伴わない周知方法の検討を行うなど、引き続き自治会や連合会の活動に興味を持ってもらえるよう努めていく。 ・浦安市は、2020年の国勢調査による高齢化率は17.5%となっており、千葉県の27%や、全国の28.8%と比較すると低い傾向にある。そのため、高齢を理由にした退会是他市と比べて少ないと考えられるが、単身世帯や核家族世帯の新規加入率が低いため、自治会の加入率は、他市と比べると低く、課題となっている。

【議題1】 少子高齢化時代の自治会の退会及び加入への施策について

て

現在、特に高齢者の退会が多く、自治会への新規加入へのメリットが問われている現状です。退会（特に高齢を理由とした）を防止し、新規加入者を増やすため、どのような施策に取り組まれていますか？

また、各市の特色や課題、今後の取り組みについて、ご意見等をお知らせください。

住民自治組織名 鎌ヶ谷市自治会連合協議会

調 査 票	
現状・取り組み状況	<p>高齢者こそ大災害に備えるため、地域とのつながりを保つために自治会に加入すべきであると説明しているが、輪番で班長や役員がまわってくるタイミングで、高齢を理由に退会することが多い。</p>
各市の特色・課題・今後の取り組み	<p>班長や役員に定年を設けて役割を免除する対応も考えられるが、高齢者の割合がさらに大きくなると、若い世代の負担が課題となってしまうことが懸念される。</p> <p>運営に係る負担の公平化については、ルールを単純に公平にすればよいというのではなく、自治会ごとに異なる事情を十分に考慮すべきであるとする。</p>

【議題1】 少子高齢化時代の自治会の退会及び加入への施策について

て

現在、特に高齢者の退会が多く、自治会への新規加入へのメリットが問われている現状です。退会（特に高齢を理由とした）を防止し、新規加入者を増やすため、どのような施策に取り組まれていますか？

また、各市の特色や課題、今後の取り組みについて、ご意見等をお知らせください。

住民自治組織名 船橋市自治会連合協議会

調 査 票	
現状・取り組み状況	<p>船橋市は令和5年4月1日現在人口646,322人、298,572世帯の中核市で24地区コミュニティに888町会・自治会（加入世帯数206,854）が設置されており、このうち自治会連合協議会加盟は773団体（加入世帯数201,679）です。</p> <p>近年、他市同様、多くの地域で高齢化が進み、高齢の会員が輪番役員の時期が近づくと退会を申し出る、また、若い世代は町会・自治会への関心が薄く未加入者が多い等役員のなり手不足、担い手不足が深刻化しつつあります。</p> <p>こうした状況に鑑み当協議会では、市と協働して町会・自治会加入促進チラシ（別添）を作成し、市では転入時や子どもの学校入学時等に市民に配付、各町会・自治会でも勧誘のツールとして活用しています。また、課題解決のヒントとなるよう、令和5年10月には地域活性化コンサルタントの水津陽子氏を講師に招き、会長セミナーを開催しました。</p> <p>一方、市においても各町会・自治会への回覧、全戸配付依頼等の削減、各種届出事項の電子化、制度ボランティア選出手続きの簡素化など町会・自治会の負担軽減を図るほか建設業団体に依頼し、転入者に対して町会・自治会への加入勧奨などに取り組んでもらっています。</p>
各市の特色・課題・今後の取り組み	<p>船橋市は大規模団地、マンション、戸建て住宅地区や農家世帯、漁業世帯、商店街中心地区など住宅地形成や職域を異にする地区が混在しており、住民意識の違いから道路、交通、環境問題をはじめ防災、防犯に対する課題も異なっています。このため個々の課題については各地区が実情に合わせ取り組んでいますが、町会・自治会加入促進やまちづくり活性化、安全安心なまちづくりなど共通する課題については当協議会でも取り組むこととしています。</p> <p>各町会・自治会においては、コロナ禍や高齢化により親睦事業等への参加者の減少、町会・自治会管理のごみステーションの退会者利用などの課題のほか、防犯灯維持管理や私道補修については、地域居住者であれば加入・未加入を問わず恩恵を受けるとの考えから、未加入者に対して費用の負担を求められないかなどが課題となっています。</p> <p>当協議会は、引き続き共通課題解消に努めるとともに各地区固有の課題に対しても支援していくこととしています。</p>

【議題1】 少子高齢化時代の自治会の退会及び加入への施策について

て

現在、特に高齢者の退会が多く、自治会への新規加入へのメリットが問われている現状です。退会（特に高齢を理由とした）を防止し、新規加入者を増やすため、どのような施策に取り組まれていますか？

また、各市の特色や課題、今後の取り組みについて、ご意見等をお知らせください。

住民自治組織名 市川市自治会連合協議会

調 査 票	
現状・取り組み状況	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自治会への加入割合は減少傾向にある。令和5年4月1日現在で約52%。 ○自治会役員の高齢化が進み、役員の担い手不足となっている。 ○高齢夫婦・独居など、班長が出来ず、自治会を退会していく方も多い。 <p>【現状の取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市川市自治会等を応援する条例の制定（令和2年4月1日制定） ○市川市における自治会への加入促進に関する協定書の締結（令和2年3月19日） 千葉県宅建協会市川支部に加盟する加盟店での加入促進リーフレットの配布 ○自治会活動を支える人材を育成することを目的とした地域活動育成塾の開催 ○転入者への加入促進リーフレットの配布 ○自治会による地道な声掛けによる加入促進
各市の特色・課題・今後の取り組み	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○減少傾向にある加入率の向上 ○高齢化による役員の担い手不足への対応 <p>【今後の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一部の自治会では、SNS等による情報伝達、デジタル掲示板などの活用（若い世代の取り込み）

【議題1】 少子高齢化時代の自治会の退会及び加入への施策について

現在、特に高齢者の退会が多く、自治会への新規加入へのメリットが問われている現状です。退会（特に高齢を理由とした）を防止し、新規加入者を増やすため、どのような施策に取り組まれていますか？

また、各市の特色や課題、今後の取り組みについて、ご意見等をお知らせください。

住民自治組織名 松戸市町会・自治会連合会

調 査 票	
現状・取り組み状況	<p>《現状》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが大きくなると子ども会等を利用しなくなり、加入の意味がないと感じ退会する他、高齢者の一人暮らし世帯等に輪番制の班長の順番が回ると退会してしまう例がある。 <p>《松戸市内での取り組み例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢等を理由に班長を務めるのが難しい場合は、順番を飛ばして他の会員が代わることにより免除している。 ・町会内に若手役員（30代～40代）のグループリーダー10名を配置し、それぞれ5つの班（班長は輪番制）を担当している（計50班）。高齢者が班長を務める場合は、グループリーダーと一緒にポスティングや回覧、集金等を行う等、協力体制を築いている。これにより、高齢者からは親しみがわく、若手からは可愛がってもらえる、といった意見が出ており、高齢を理由とした退会はほとんど見られない。 ・老人会とは別に「シニア文化クラブ」といった、シニアの方が積極的に趣味やスポーツ等をとおして生活を豊かにしていくことを目的としたクラブを、町会内で設立している。町会全体でシニア層と関係を育んでいく仕組みをつくり、退会防止に繋げている。 ・高齢者で足などの不自由な方が悩む買い物支援の一つとして、グリーンスローモビリティを実施しており、これにより町会の定期的な活動が目に見えて認識でき、町会に興味を持ち加入に繋がる仕組みをとっている。
各市の特色・課題・今後の取り組み	<p>《特色》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単身世帯や外国人が多い <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町会会員や役員の高齢化が進んでいる ・若い世代に加入してもらえない <p>《今後》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントの開催をきっかけに若い世代と関わりを持ったり、災害時における繋がり的重要性を説明したりすることにより、町会活動への参加を呼びかけていく。 ・市が作成している松戸市の町会PR漫画を町会活動で活用する。 <p>活用例) 新規加入者への説明資料、新班長等が活動の理解を深めるための参考として</p>

【議題1】 少子高齢化時代の自治会の退会及び加入への施策について

て

現在、特に高齢者の退会が多く、自治会への新規加入へのメリットが問われている現状です。退会（特に高齢を理由とした）を防止し、新規加入者を増やすため、どのような施策に取り組まれていますか？

また、各市の特色や課題、今後の取り組みについて、ご意見等をお知らせください。

住民自治組織名 習志野市連合町会連絡協議会

調 査 票	
現状・取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・不動産開発等の際に周知する ・新規転入者へは、該当する町会規約や年間行事表及び地域で作成した活動チラシを持参し加入の挨拶をおこなう ・民生委員や地域の青年会に所属している人に声をかけ、町会役員になってもらう ・役員を減らし、回る順番を遅くする ・会議等の日程を休日に設定し、勤労世代が参加しやすくした ・高齢者対策として、地区内懇親会・防犯団体と連携して健康プラットフォームをつくり、参加者主体で活動を決定し活動している ・「災害時支援希望者登録制度」を設定。独居世帯からの信頼を集めている ・連絡業務等についてITを活用し、自治会業務の合理化及びスリム化を図る
各市の特色・課題・今後の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・若手の参入については喫緊の課題であるが、地域活動は日中に行われることが多いので、なかなか仕事を休んでまで参加してもらうわけにもいかず、勧誘が停滞してしまっている

【議題1】 少子高齢化時代の自治会の退会及び加入への施策について

現在、特に高齢者の退会が多く、自治会への新規加入へのメリットが問われている現状です。退会（特に高齢を理由とした）を防止し、新規加入者を増やすため、どのような施策に取り組まれていますか？

また、各市の特色や課題、今後の取り組みについて、ご意見等をお知らせください。

住民自治組織名 八千代市自治会連合会

調 査 票	
現状・取り組み状況	<p>1. 退会の現状について</p> <p>1) 現状 高齢化が主因で、会員の逝去及び施設入居、引っ越しによる空き家が退会の主要因を占めている。 また、班長や役員・委員の役割について、「高齢で十分な活動が出来ない」として退会する世帯が増えている。 そして、近い将来解散に追い込まれそうな自治会も存在している。</p> <p>2) 退会防止の取り組み</p> <p>①班長や役員の業務の削減として、会費徴収・ニュース配布等の業務を外注化（自動振替、戸別配布等）により誰でも出来る範囲に削減した自治会や、高齢者や独身者の役員・月当番を免除したり、会費を半額にしたり、業務をマニュアル化している自治会もある。</p> <p>②自治会活動として、毎年会員要望を収集し、市役所・警察署に改善を提出し、環境改善（道路・公園・信号等）に務め、自治会加入のメリットの見える化を図っている自治会もある。</p> <p>③高齢者対策として、高齢者向けのサークル活動の促進、長寿会、元気体操、元気サロン支会との協力を行なっている自治会もある。</p> <p>2. 新規加入者について</p> <p>①新規入居者を確認したら、自治会又役員から入居案内を届けて、併せてゴミ集積の場所の説明も行い、加入を勧めている。</p> <p>②非会員、特に子育て世代へアピール。年2回、子育て世代への懇談会を開いて自治会・市への要望を聴いている。</p> <p>③自治会の事業を簡単に説明している。親睦活動（夏祭り、餅つき大会の開催）、清掃活動（春・秋の自治会全員によるU字溝、草刈り）、住みやすい自治会（地域）であることをアピール</p>
各市の特色・課題・今後の取り組み	<p>1. 特色・課題</p> <p>①高齢化が進行し、防犯・防災等のボランティア要員のなり手不足が課題</p> <p>②サラリーマン世帯が多く、定年延長が拍車をかけ、役員のなり手不足が深刻</p> <p>③地域環境も安定しており、自治会の加入メリットが見いだせないため、加入数は右肩下がりの状況が続いている。</p> <p>④事務要員を抱える大規模組織では、人件費・運営費用の値上げが事業費を圧迫し始めているが、会費の値上げがままならない現状</p> <p>2. 今後の取り組み</p> <p>①各自治会が抱えている悩み事（問題点）事例を出しながら、討議・知恵を出し合い、少しでも解決できる場を作っていく。</p> <p>②自治会加入のメリットを考えながら会員の要望を収集していき、新規転入者に対して今まで以上に積極的に入会を勧める。</p>